

# あさみ会報

朝見まちづくり協議会  
あさみ会報編集部  
発行責任者・鈴木三千夫  
松阪市大宮町 209-4  
朝見地区市民センター内  
電話 0598-51-5648  
2006.10.30 発行  
第9号

## 第2回 朝見地区ふれあい防災訓練

# 雨の中を365名が参加!

# 実践しながらの訓練が行われる 土のう・救出・炊き出し訓練

十月一日日曜日 午前八時三十分 大地震が発生との想定で第2回朝見地区ふれあい防災訓練を開始した。小雨決行で開始され、各町では自主防災隊が中心となって、各町の防災訓練が行われた。又、瓦礫からの救出訓練は毎回必要との要望から、下七見町の田中土木の資材置き場を借りて、松阪消防本部南消防署の指導で行われた。同日十時四十分には各町からの避難訓練の参加報告を本部テントにて受付けた。小雨降る中運動場に全参加者が整列をしたところで、鈴木理防災部会長が避難者(参加者)報告を行い、開会式が始まった。始めに松阪市より大川長昭生活部長の挨拶があり、森本哲生・田村憲久国会議員の祝電、竹上真人県議員が紹介され、田村正朝見まちづくり協議会会長、田中祐治朝見地区連合自治会長、小川義治朝見小

学校校長が挨拶を行った後、岡田浩昌朝見消防団分団長から訓練の概要の説明があった。始めの訓練は各町代表による「土のう作り」訓練を全員が見守る中行われ、詰め方・運び方・積み方の指導を受けた。この後は、地震体験車、濃煙体験、消火訓練、自主防災隊が所有するポンプによる放水訓練、ちびっこによる放水には写真が撮られていた。また、工作車、防犯グッズ、非常食の展示が行われていた。体育館横では自主防災隊の代表とさくらんぼGによる、炊き出し訓練が行われ早期より集ったメンバーは材料の豚汁に全員が舌鼓をうった。屋敷後は体育館にて、松阪市消防本部の婦人消防隊による、腹話術で災害時の避難を子供たちと楽しく学んだ。マ



雨の開会式



↑ちびっこ消防隊 ↓瓦礫からの救出(田中土木)



↓腹話術による防災の話。 ↑土のう詰め訓練。 ↓豚汁の炊き出し(さくらんぼG)



### 災害時協力企業紹介コーナー

(大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限会社・大徳建設株式会社・上川運送株式会社 (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設 (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社 (古井) 有限会社松井工務店・神産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 宮前クレーン (上七見) 鈴木為郎農産・尚橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設



# 《大規模な訓練に学ぶ》 三重県防災訓練 高須町会場 朝見地区から100名が参加

九月十日(日)午前九時、今回の三重県防災訓練の主会場となった松阪市は、西黒部町の高須町会場には、朝見地区の自主防災隊が100名参加した。朝見はバケツリレー消火と倒壊家屋からの救出訓練とボランティア活動に参加した。ボランティア活動ではボランティア受付にて自分の希望ボランティア活動を選び教護テント組み立て、土砂取り除き作業、救護薬品運搬の模擬訓練が行われた。昼食には非常食の炊き出しご飯が支給された。三重県防災訓練は近隣の愛知県、岐阜県、奈良県、和歌山県と陸海空自衛隊、海上保安庁など参加して上空にはヘリコプター、航空機も参加しての大規模な防災訓練であった。朝見まちづくり協議会、防災部会にとって有意義な訓練参加となった。



上 ボランティア受付 下 バケツリレーと一斉放水。



## 防犯部会がパトロールを開始! 今出来ることをやろうと 街宣防犯パトロール!

九月八日朝見まちづくり協議会防犯部会は自主防犯パトロールの活動を開始した。少しでも地域に防犯がアピールできるようと車にスピーカーを取り付け事前に準備した防犯アナウンスをBGMとおりませて呼び掛けている。音楽には関心を引いてもらえるようにと水戸黄門・必殺仕置人、あぶない刑事などである。週一回の防犯パトロールを行っている。

## 朝見小学校三年生 子供たちと 防犯パト同乗体験。

十月十一日(日)十月十七日十八日の四回に分けて行われた。子供たちは自分の住んでいる町をパトロールし考えた防犯アピールをマイクを握りしめてアナウンスをした。始めは緊張気味だったが終わりがには上手なアナウンスになっていた。約30分40分同乗パトロールであったが防犯に対する意識が培われた。後日感想文が防犯部会に寄せられ緊張した、楽しかった、不審者に気を付けよう、誘拐されたら危ないことになるから気を付けた、新聞社の人に感想を聞かれた、乗せてくれたおじちゃんに感謝します、もう一回乗りたい、変な緑色の上着(防犯パトの服)を着せられた、一人で遊ばないと言った、皆がしゃべっているのを見てしゃべれた、マイクでしゃべったので緊張した、曲がちびまるこちゃんて楽しかったなどそれぞれの思いが作文に現れていた。同乗をしたパトロールの隊員もあらためて、

今回の活動は子供たちや地域に大きな反響となり、これからは地域の協力を得ながら安心の朝見地区にして行きたいと決意をしていた。初日の夕刊三重、伊勢新聞、中日新聞、ケーブルテレビ、毎日新聞と各回に報道関係の取材があり関心の深さが大きな話題となっている。

## 地域環境部会の活動 第二回用水路 美化清掃をする。

十月二十二日 朝見地区内を流れる榑田川左岸第一号用水路と第三号用水路清掃が一斉に行われた。先回の清掃作業で農繁期での水の流れが良くなったとの観点から今年は綿密に作業工程が打ち合わされた。各町の用水路の清掃区画を明確にして、それぞれの町が清掃作業に汗を流した今回の清掃作業でも2000個の土のう袋の土砂があがった。

道路には、空き缶ポイ捨て禁止犬の糞は始末を、など。環境美化に力を入れる、地域環境部会では他に、空き缶・ゴミ・犬の糞処理・資源分別回収等の問題を解決しようとして製作してアピールをしている。



朝見小学校3年生の皆様



## 緊急アピール (防犯部会より)

最近朝見地区内にて、空き巣ドロボーによる被害が続出しています。昼夜問わず堂々と忍び込んできます。朝見地区の家々に入り込まれると分かりません。事前に大事なことは、隣近所は異変がないか?知らない人が歩いてないか?不審な車が止まってないか?チェックして守り合しましょう。門扉の代わりにロープが張ってあるだけでも用心になります。不審者に挨拶の声をかけるだけでも犯罪は防げます。これから年末の雑多の多い時期になります。みんなの力を合わせて、町を、我家を守っていきましょう。不審者を発見したら迷わず 警察 110 番しましょう!

